



2023年 第3回定例会 一般質問から

18歳以上の引きこもり支援策提案

内閣府の調査では、15～64歳の男女146万人が引きこもり状態となっています。「退職」が引きこもりの最大理由で、コロナ禍でその数は増えています。

町田市では18歳までの引きこもりに関しては、子ども施策を推進していますが、**18歳を超えると、そうした支援措置は取られていない**のが現状です。八王子市では、18歳以上も対象にした子ども・若者総合相談センターが設置されており、引きこもり支援の司令塔の役割を果たしています。

町田市にも**「子ども・若者総合相談センター」の設置による有効性の高い支援施策**を議会で訴えました。市からは「先進自治体の取り組みについての情報収集を行い、研究していく」との答弁を得ました。この問題は大きな社会問題であり、超党派で推進すべきテーマであると捉えています。



成立した主な補正予算

多子世帯の負担を軽減

2023年10月から「幼児教育・保育の無償化(国制度)」の対象外となっている「0～2歳児の課税世帯」に対して、認可保育施設(認可保育所、認定こども園、小規模保育所、家庭的保育者)、認証保育所、その他預かり事業における第2子以降の保育料の無償化などを行います(子ども生活部子ども総務課724-2876)。

妊婦健康診査の経済的負担を軽減

安心して出産ができるよう、各回5300円を上限に、超音波検査の公費負担回数を4回(これまでは1回)までに拡充し、妊娠にかかる経済的負担を軽減(保健所保健予防課725-5471)。

自転車用ヘルメット購入費を補助

東京都の制度を活用し、自転車用ヘルメット購入にかかる費用の一部(上限2,000円)を補助します(防災安全部市民生活安全課724-4003)。



就労支援「町田リス園」を視察

9月27日、就労支援B型施設として35周年を迎える「町田リス園」を視察。利用者定員は20名で、餌を詰める仕事や販売する仕事などに従事していました。



地域サポート報告



通学路を舗装(木曽西)



通学路草刈り(下小山田町)



共生社会を目指して 木曽山崎に「パラアリーナ」

現在、旧町田市立忠生第六小学校跡地では、給食センターの建設に並行して、「町田市パラアリーナ」の建設計画が準備段階に入っています。**障害者と健常者が分け隔てなく交流でき、より価値的に使われる施設にする**ため、市に訴えました。

バルセロナ五輪・水泳金メダリストの岩崎京子さんも、世界各地のスポーツ施設を訪問する中で、トップアスリートと障害者が一緒に練習している光景などに接し、「あるべき姿だと思った」と語っています。市も障害者のスポーツ推進やパラスポーツの普及啓発など、スポーツを通じた共生社会を促進する場にしていきたいと答弁しました。



パラアリーナ予定地の旧忠生第六小跡地

七国山の魅力を守れ！

七国山は風致地区として、市としても緑の保全など自然環境保護に力を入れています。私有地も散在し、開発が進められると景観が一変してしまうなど、今後の保全が不安定な状態にあります。

保全を万全にするためには、都から緑地安全地域に指定されることですが、希少動植物の存在など、条件を満たしてはいません。

議会では「町田薬師池公園 四季彩の杜の魅力向上計画」の中に七国山頂上付近の景観の保全を要望しました。市から**「空間のリニューアルによる新たなにぎわいの場づくり」の一環として展望台の設置などを眺望の良い場所に検討している**と答弁がありました。



七国山の頂上付近の風景

北部丘陵地帯さらなる魅力増進のために

町田市では2022年4月、北部丘陵地帯の魅力を有効に活用するため、「町田市里山環境活用保全計画」を策定しました。この計画を踏まえて、不法投棄対策、鶴見川最上流域を生かした取り組み、水田保全、木材活用の4点について質問しました。

不法投棄に関して、市は清掃活動を通じて、環境保全への理解を深める**「里山クリーンアップキャンペーン」の実施検討や、ドローンをはじめ最新技術活用の調査を進める**と答弁。さらに、鶴見川最上流には「野菜の洗い場」等の生活の場として利用された片鱗が残っており、農業用水としての利用や魚を採るなど「川と関わる生活」が可能な水辺も現存します。市も米作りなど鶴見川流域の川や水路、水田に触れ合う機会を増やす施策を展開すると答弁しました。木材活用に関しては、「多摩産材」という都のブランドは針葉樹が主力ですが、町田に多いクヌギやコナラは反りなどの変化が大きい広葉樹で、市場に出回っていません。町田の木材活用へ、広葉樹材の認知度を高め、ブランド化を進めるとの答弁を得ました。



不法投棄される北部丘陵地帯

山下てつや YAMASHITA Tetsuya

市議会公明党幹事長
公明党町田総支部 都市農業対策部長

昭和40年、東京都生まれ。青山学院大学経営学部を卒業後、新東亜交易株式会社に勤務。平成18年、町田市議会初当選。妻と2男1女の5人家族。モットーは「現場第一・対話第一」。下小山田在住。

